

ワークショップ

「精神看護学教育の経緯と今日的課題」

来る平成16年3月6日(土)日本赤十字看護大学講堂において、精神看護学教育と実習に関するワークショップ「精神看護学教育の経緯と今日的課題」を開催いたします。参加者は会員、非会員を問いません。ぜひふるってご参加ください。

平成9年度のカリキュラム改正により、精神看護学が正式な科目として位置づけられて7年がたち、その教育の効果を検討する時期に来ていると思います。しかしこの間、精神看護学としてどのような内容を教育すべきか、そしてどのような教育方法を用いるべきかという議論が十分になされてきたとは言えず、精神看護学を教える個々の教員の裁量に任されてきたという現状があります。

一方、精神看護学を専門とする教員不足の問題が、以前から指摘されています。看護専門学校では、配置される精神看護学担当教員数は1名程度と少ないので、教員は学内で協力し合い、意見交換をする同僚を持つことができず、孤立したままに、毎日の教育活動に当たっている場合が多いようです。なかには、精神科看護の臨床経験のない方もいらっしゃいます。こうした現状をふまえ、日本精神保健看護学会教育活動委員会では、精神看護学教育の質を高めることを目的に、精神看護学を担当する教員に対しての教育の場を提供するワークショップを企画しました。

●今年度の方向性

精神看護学教育の質の向上に向けて、カリキュラム改正以後の講義、実習指導の経緯と課題を明らかにし、共有することで、精神看護学担当教員としての能力が開発できるようなワークショップを目指します。

●内 容

- 1) 精神看護学のカリキュラム改正上の経緯、位置づけとねらい
- 2) 精神看護学教育上の問題点 (特に教員の問題)
- 3) 精神看護学講義や実習の糸口となるもの
- 4) 参加者同士での現状の共有とネットワークの形成

●対 象

看護専門学校、短期大学、大学の精神看護学担当教員

●場 所

日本赤十字看護大学 講堂他 <http://www.redcross.ac.jp/>
〒150-0012東京都渋谷区広尾4丁目1番3号

●日程およびスケジュール

平成16年3月6日(土)

10:00~11:30 講義 精神看護学のカリキュラム改正上の経緯、位置づけとねらい
精神看護学教育上の問題点 (特に教員の問題)

11:30~13:00 昼食

13:00~14:30 講義 精神看護学講義や実習の糸口となるもの

14:45~16:00 グループワーク

参加者同士での現状の共有とネットワークの形成
☆1グループ20名程度で行ないます

●参加費

会員、会員外とも 3,000円 (資料代含む)

申し訳ございませんがお弁当の用意はございません。近隣の食堂でお召上がり下さい。

●申し込み方法

会場の都合上、申し込みは事前受付と致します。参加費は当日受付でお支払い下さい。申し込みの際に、「①ご所属、②お名前、③精神科看護臨床経験の有無、④教育経歴(例：精神看護学〇年、成人看護学〇年)、⑤受講の動機」をお書き添え下さい。

メールで申し込み：日本赤十字看護大学 榊 恵子 sakaki@redcross.ac.jp

FAXで申し込み：大阪大学 國生 拓子 ☎ 06-6879-2546

第14回

日本精神保健看護学会学術集会へ

多くの方のご参加を

大会長 藤野ヤヨイ

新潟での学術集会企画委員会では皆様をお迎えする準備が整ってまいりました。同封しましたポスターは企画委員で製作したものです。

第14回日本精神保健看護学会学術集会のプログラムをご紹介します。

6月12日の学術集会開催にあたり、大会長講演を行います。これは、一般の方も参加でき無料です。

10:00~11:30 大会長講演

▶「精神看護の近未来—二極化現象を超えて—
今私たちにできること」 藤野ヤヨイ(新潟青陵大学)

一般演題を募集中です。

多くの方の応募をお願い致します。

学術集会ご参加の方は、同封の振込用紙で、5月31日までに入金して下さい。当日参加は1,000円高くなりますのでできるだけ事前振込をお願いします。

専用の振込用紙がない方は、郵便局備え付けの用紙で「口座番号/00510-2-43635番 口座名称/日本精神保健看護学会第14回学術集会」宛てに「会員、非会員、学生、懇親会の参加の有無」を明記の上その合計額をお振り込みください。また、学会当日に振り込み領収書の控えをご持参ください。

《第14回学術集会に関するお問い合わせ》

事務局 〒951-8518 新潟市旭町通2-746

新潟大学医学部保健学科 藤野、田口、渡邊、香月

FAX 025-227-2362(藤野)・2367(田口)お問い合わせはファックスをお願い致します。(宿泊につきましては学会事務局とは関係ありません、担当者と直接連絡して下さい。)

学会誌

バックナンバー
販売のお知らせ

学会誌4~10巻は1,500円、11巻は2,000円、12巻は2,500円にて、日本学会事務センターで常時販売しております(送料は実費で購入者負担となります)。1巻、3巻については学術集会会場で、1,500円で販売いたします。尚、書店での取り扱いはございませんので、ご入会以前のバックナンバーのご購入、あるいは非会員の方でご関心のある方がいらっしゃいましたらご紹介下さいますよう宜しくお願い致します。

学会へのお問い合わせについて

学会への入会手続き、学会誌のバックナンバーのお求め等に関するお問い合わせ、住所や所属等の変更につきましては、下記までご連絡をお願いいたします。

〒113-8632 東京都文京区駒込5-16-9

(財)日本学会事務センター 日本精神保健看護学会事務所
Tel:03(5814)5801 Fax:03(5814)5820

プログラム
第1日目 6月12日(土)

12:00~12:50 受付

13:00~14:30 基調講演

▶「精神看護の近未来—二極化現象を超えて—」

阿保順子(北海道医療大学教授)

14:45~17:00 ワークショップ

▶精神科におけるリスクマネージメント・釜 英介
(都立松沢病院看護師・専任リスクマネージャー)

▶長期入院患者の退院促進・未安民生(慶應義塾大学)

▶精神看護学の教育的展開—臨床実習における倫理的配慮について— 滝川 薫(滋賀医科大学)

▶リラクゼーション・五十嵐透子(上越教育大学)

▶看護療法・渡邊岸子(新潟大学)

▶体験グループ・武井麻子(日本赤十字看護大学)

▶看護師が患者から受ける暴力・鈴木啓子(静岡県立大学)

▶初心者精神看護専門看護師に求められる能力と資質・野末聖香(慶應義塾大学)

▶事例検討・平澤久一(日本赤十字広島看護大学)

第2日目 6月13日(日)

8:30~ 受付

9:00~12:30 一般演題発表

一般演題発表・演題受付中

13:30~14:00 総会

14:10~16:10 シンポジウム

▶「教育と臨床のコラボレーション」

司会：中山洋子(福島県立医科大学)

藤野邦夫(新潟大学)

シンポジスト：牧病院看護部長 五十里瑞枝

大正大学人間学部教授 野田 文隆

小千谷地区保健師 佐藤 久美

自治医科大学教授 永井 優子

The Japan Academies of
Psychiatric and
Mental Health Nursing
*News
letter*

編集後記

★理事会体制も整い、新しい理事による委員会活動も盛んになって参りました。今回のニュースレターでは教育活動委員会のワークショップをご紹介させて頂きました。★先日、某地区の看護専門学校精神看護学担当教員の勉強会に参加致しました。とても大変な状況の中、先生方の精神看護学教育に熱心に取り組んでいる姿勢に私の方が勇気づけられて帰って参りました。教育活動委員会のワークショップにも多くの皆様のご参加をお待ち致しております。(O)

編集委員

永井優子 岡田佳詠 荻野雅